



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年8月11日

上場会社名 ライフネット生命保険株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7157 URL <https://www.lifenet-seimei.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森亮介
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 近藤良祐 TEL 03-5216-7900
 四半期報告書提出予定日 2020年8月11日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	4,726	21.3	△647	-	△652	-
2020年3月期第1四半期	3,895	31.9	△321	-	△325	-

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2021年3月期第1四半期	△12.	69	-	-
2020年3月期第1四半期	△6.	36	-	-

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	42,298	8,951	21.2	174.28
2020年3月期	41,144	9,400	22.8	183.03

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 8,951百万円 2020年3月期 9,400百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2021年3月期	-	-	-	-	-
2021年3月期（予想）	-	0.00	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	20,000	18.7	△3,200	-	△3,200	-

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

詳細は、添付資料3ページ「1(3)業績予想」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	51,360,238株	2020年3月期	51,360,238株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	94株	2020年3月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	51,360,217株	2020年3月期1Q	51,145,000株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

当社は、2020年8月11日（火曜日）午後4時から、機関投資家、アナリスト向けに、第1四半期決算の電話会議を開催する予定です。電話会議における説明内容は、終了後、当社株主・投資家情報ウェブサイト（<https://ir.lifenet-seimei.co.jp/ja/>）に掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績	2
(2) 財政状態	2
(3) 業績予想	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績

契約の状況

当第1四半期累計期間の新契約業績は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、生命保険のニーズが高まったことなどにより、新契約の年換算保険料*1は、前年同期比141.9%の1,166百万円、新契約件数は、前年同期比147.2%の28,136件となり、過去最高業績を達成しました。当第1四半期会計期間末の保有契約の年換算保険料は、前事業年度末比106.1%の16,461百万円、保有契約件数は、前事業年度末比106.2%の387,775件となりました。また、当第1四半期累計期間の解約失効率*2は、5.5%（前年同期7.6%）となりました。

*1. 年換算保険料とは、1回当たりの保険料について保険料の支払い方法に応じた係数を乗じ、1年当たりの保険料に換算した金額をいいます。当社商品の保険料は全て月払いのみとなっているため、1ヶ月当たりの保険料に12を乗じたものを年換算保険料としています。

*2. 解約失効率は、解約・失効の件数を月々の保有契約件数の平均で除した比率を年換算した数値です。

収支の状況

当第1四半期累計期間の保険料等収入は、保有契約件数の増加及び修正共同保険式再保険の活用に伴い、前年同期比122.8%の4,633百万円と増加しました。また、資産運用収益は、前年同期比103.5%の73百万円となりました。その他経常収益は、19百万円となりました。この結果、当第1四半期累計期間の経常収益は、前年同期比121.3%の4,726百万円となりました。

保険金等支払金は、保有契約業績の伸長などに伴い、前年同期比160.0%の1,236百万円となりました。保険金及び給付金支払額の保険料に対する割合は、前年同期の18.7%から18.1%に減少しました。責任準備金等繰入額は、前年同期比147.4%の1,497百万円となりました。責任準備金繰入額の保険料に対する割合は、前年同期の31.0%から38.0%となりました。事業費は、前年同期比106.4%の2,341百万円となりました。事業費のうち、営業費用は前年に引き続き広告宣伝費の積極的な投下などにより前年同期比100.2%の1,506百万円、保険事務費用は前年同期比114.8%の242百万円、システムその他費用は前年同期比121.9%の592百万円となりました。その他経常費用は、前年同期比131.1%の299百万円になりました。これらにより、当第1四半期累計期間の経常費用は、前年同期比127.5%の5,374百万円となりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の経常利益は、前年同期のマイナス321百万円に対して、マイナス647百万円となりました。四半期純利益は、前年同期のマイナス325百万円に対して、マイナス652百万円となりました。

また、生命保険会社の収益性を示す指標のひとつである基礎利益は、前年同期のマイナス428百万円に対して、マイナス562百万円となりました。内訳は、危険差益877百万円、費差益マイナス1,424百万円、利差益マイナス15百万円となりました。

当社は、継続的な新契約業績の成長を目指すとともに、財務健全性の維持を目的として、2019年度から新契約の一部（以下、出再契約）を対象とした修正共同保険式再保険を行っております。修正共同保険式再保険は、出再契約のリスク及び収支構造の一部を一定期間再保険会社に移転するもので、当該再保険を活用することで、新契約に係る費用の負担が、会計上の資本を急激に減少させる状況を緩和することが可能となります。具体的には、当該再保険では、新契約獲得の初年度に、出再契約に係る新契約費の一部を出再手数料として収受します。そのため、経常収益が増加します。一方、収受した出再手数料は、再保険貸に資産計上された後、一定の期間において再保険収支に基づいて段階的に償却されます。そのため、当該期間において、経常利益及び純利益は減少することとなります。再保険貸の償却が完了し、再保険契約を終了させると、その後の出再契約の利益は当社に帰属することとなります。以上により、当第1四半期累計期間においては、当該再保険により経常収益は558百万円増加（前年同期は387百万円増加）、経常利益及び四半期純利益は212百万円増加（前年同期は370百万円増加）しております。

(2) 財政状態

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期会計期間末の総資産は、42,298百万円（前事業年度末41,144百万円）となりました。主な勘定残高として、高格付けの公社債を中心とする有価証券は、32,846百万円となりました。また、再保険貸1,884百万円のうち、修正共同保険式再保険に係る未償却出再手数料の残高は1,749百万円となりました。

負債は、責任準備金が増加したことから、33,346百万円（前事業年度末31,744百万円）となりました。主な勘定残高は、責任準備金31,187百万円、支払備金634百万円となりました。

純資産は、四半期純損失を計上したため、8,951百万円（前事業年度末9,400百万円）となりました。これには、修正共同保険式再保険の活用により、利益剰余金を増加させる効果を含んでおり、資本の急激な減少を緩和しております。一方、収受した出再手数料は、再保険貸に資産計上された後、一定の期間において再保険収支に基づいて段階的に償却されます。それに応じて、当該期間において、純資産が減少することとなります。

当第1四半期会計期間末のソルベンシー・マージン比率は、2,093.9%（前事業年度末2,117.1%）となり、十分な支払余力を維持しています。

キャッシュ・フローの状況

当第1四半期累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、主に保険料収入の増加により、675百万円の収入（前年同期258百万円の収入）となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、主に有価証券の取得により、785百万円の支出（前年同期559百万円の支出）となりました。また、財務活動によるキャッシュ・フローは、1百万円の支出（前年同期3百万円の支出）となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第1四半期会計期間末残高は、1,566百万円（前事業年度末1,677百万円）となりました。

(3) 業績予想

2020年度（2021年3月期）の業績予想は、新型コロナウイルス感染症の影響により、合理的な算出が困難であったため非開示としておりましたが、現時点での入手可能な情報に基づいて算定し、以下のとおり開示します。

(百万円)

	経常収益	経常利益	当期純利益
2020年度業績予想 (2021年3月期)	20,000	△3,200	△3,200
(参考) 2019年度実績 (2020年3月期)	16,850	△2,382	△2,400
増減率	18.7%	—	—

当社は、引き続き、経営方針の重点領域に掲げた「顧客体験の革新」及び「販売力の強化」を行うことで保有契約のより一層の伸長を目指します。そのために、当事業年度において、新契約業績の成長を目指して営業費用を積極的に投下するとともに、事業環境の変化に柔軟に対応できるようシステム基盤の構築のための投資を行う予定です。

また、2019年度より開始した修正共同保険式再保険は2020年度においても引き続き活用します。当該再保険による2020年度の業績予想への影響は、新契約業績の獲得が当社の想定どおりに進捗した場合において、経常収益を約2,700百万円、経常利益及び当期純利益を約650百万円押し上げる見込みです。なお、これには、過年度に出再した契約に係る再保険貸の償却額を含みます。

以上により、2020年度の業績は、修正共同保険式再保険の影響を含み、経常収益20,000百万円、経常利益マイナス3,200百万円、当期純利益マイナス3,200百万円を見込んでいます。新契約年換算保険料*1は、4,000百万円を見込んでいます。

(参考) 新契約年換算保険料*1

(百万円)

2020年度業績予想 (2021年3月期)	4,000
2019年度実績 (2020年3月期)	3,425

なお、現時点において、新型コロナウイルス感染症の影響により先行き不透明な状態は引き続き継続していることなどにより、保険金等支払の発生状況や新契約の獲得状況が当社の想定している水準と大きく異なる場合には、実際の経常利益及び当期純利益は当該予想値と大きく乖離する可能性があります。今後も新型コロナウイルス感染症の影響を注視しながら、開示すべき事象が発生した場合には、速やかにお知らせします。

引き続き、当社は、毎四半期における決算発表、業績速報等の実績値の開示の充実など、マニフェストに掲げている積極的な情報開示を推進することで、ステークホルダーの皆さまの当社に対する理解の促進に努めます。

*1. 年換算保険料とは、1回当たりの保険料について保険料の支払い方法に応じた係数を乗じ、1年当たりの保険料に換算した金額をいいます。当社商品の保険料は全て月払いのみとなっているため、1ヶ月当たりの保険料に12を乗じたものを年換算保険料としています。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
現金及び預貯金	1,377	1,566
買入金銭債権	299	—
金銭の信託	3,539	3,710
有価証券	32,058	32,846
国債	8,065	8,034
地方債	1,391	1,386
社債	18,119	18,684
株式	313	388
外国証券	0	0
その他の証券	4,167	4,352
有形固定資産	96	88
無形固定資産	742	764
代理店貸	9	7
再保険貸	1,663	1,884
その他資産	1,356	1,428
未収金	1,132	1,206
その他の資産	224	221
資産の部合計	41,144	42,298
負債の部		
保険契約準備金	30,328	31,822
支払備金	638	634
責任準備金	29,690	31,187
代理店借	55	73
再保険借	225	240
その他負債	882	876
特別法上の準備金	56	59
価格変動準備金	56	59
繰延税金負債	195	274
負債の部合計	31,744	33,346
純資産の部		
資本金	12,200	12,200
資本剰余金	12,200	12,200
利益剰余金	△15,502	△16,154
自己株式	—	△0
株主資本合計	8,898	8,245
その他有価証券評価差額金	502	705
評価・換算差額等合計	502	705
純資産の部合計	9,400	8,951
負債及び純資産の部合計	41,144	42,298

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
経常収益	3,895	4,726
保険料等収入	3,774	4,633
保険料	3,279	3,940
再保険収入	494	693
資産運用収益	70	73
利息及び配当金等収入	60	58
金銭の信託運用益	9	12
有価証券売却益	—	2
その他経常収益	50	19
支払備金戻入額	38	3
その他の経常収益	11	16
経常費用	4,216	5,374
保険金等支払金	772	1,236
保険金	386	447
給付金	227	267
その他返戻金	0	0
再保険料	159	521
責任準備金等繰入額	1,015	1,497
責任準備金繰入額	1,015	1,497
資産運用費用	0	0
支払利息	0	0
為替差損	0	—
事業費	2,199	2,341
その他経常費用	228	299
経常損失(△)	△321	△647
特別損失	3	3
特別法上の準備金繰入額	3	3
価格変動準備金繰入額	3	3
税引前四半期純損失(△)	△324	△651
法人税及び住民税	0	0
法人税等合計	0	0
四半期純損失(△)	△325	△652

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失 (△)	△324	△651
減価償却費	63	76
支払備金の増減額 (△は減少)	△38	△3
責任準備金の増減額 (△は減少)	1,015	1,497
価格変動準備金の増減額 (△は減少)	3	3
利息及び配当金等収入	△60	△58
有価証券関係損益 (△は益)	—	△2
支払利息	0	0
代理店貸の増減額 (△は増加)	△1	2
再保険貸の増減額 (△は増加)	△408	△221
その他資産 (除く投資活動関連、財務活動関連) の増減額 (△は増加)	△45	△68
代理店借の増減額 (△は減少)	△7	18
再保険借の増減額 (△は減少)	21	14
その他負債 (除く投資活動関連、財務活動関連) の増減額 (△は減少)	△31	△9
その他	△8	2
小計	177	600
利息及び配当金等の受取額	84	80
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△3	△4
営業活動によるキャッシュ・フロー	258	675
投資活動によるキャッシュ・フロー		
金銭の信託の増加による支出	△250	—
有価証券の取得による支出	△600	△1,299
有価証券の売却・償還による収入	395	602
資産運用活動計	△454	△697
営業活動及び資産運用活動計	△196	△21
有形固定資産の取得による支出	△22	△10
無形固定資産の取得による支出	△82	△78
投資活動によるキャッシュ・フロー	△559	△785
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	—	△0
リース債務の返済による支出	△3	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3	△1
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△305	△110
現金及び現金同等物の期首残高	2,192	1,677
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,886	1,566

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。